

令和元年度健康保険組合決算のご報告

第172回ダイハツ系連合健康保険組合会において令和元年度決算が承認されました。
令和元年度は、被保険者数の増加で保険料は収入増となりました。
結果、4期ぶりの経常黒字となりました。



ソーシャルディスタンス対応をとって開催

健康保険決算

収入合計額 71億1,702万8千円

健康保険料 66億8,138万2千円

調整保険料
7,718万8千円

その他の収入
1,636万6千円

国・上部団体
からの補助金
3億4,209万2千円

支出合計額 66億9,426万6千円

保険給付費 33億284万8千円

高齢者への負担金 31億4,743万9千円

保健事業
9,654万1千円

事務費
6,673万1千円

その他の支出
8,070万7千円

収支差引残金^(註) 4億2,276万2千円

経常収支差引額 8,297万9千円

(註) 収支差引残金は以下の通り処分しました。

- ・4億2,262万9千円を法定準備金へ積立て
- ・13万3千円を次年度の上部団体への健保相互扶助拠出金として繰越し

令和元年度決算(各種基礎データ)

健康保険料率=10.00%

事業主=5.39%

被保険者=4.61%

令和元年度適用状況

	令和元年度適用状況	前年度比
年間平均被保険者数	12,892人	+454人増
年間平均被扶養者数	13,814人	+137人増
平均標準報酬月額	344,032円	▲449円減

介護保険決算

40歳以上の皆さまから納付いただいた介護保険料は、国に指定された負担額を国庫に納めています。

収入合計額 5億4,397万9千円

支出合計額 5億4,393万6千円

収支差引残金^(註) 4万3千円

(註) 収支差引残金は以下のとおり処分しました。

- ・4万3千円全額を介護準備金へ積立て

医療費と高齢者への負担金の増加や新型コロナウイルスの影響など今後は厳しい財政状況が予想されます。事業主の皆さま、組合員の皆さまの引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。